

令和8年度 第1回鈴鹿市障害者施策推進協議会 議事概要

日 時	令和8年7月1日(水) 13時30分～14時55分
場 所	鈴鹿市役所 本館12階 1204会議室
出席委員	藤原、山野、土屋、中澤、長井、酒井、鈴木、宮崎、杉本、 坂、古澤、恩田、加藤、辻、岡田、木村 (以上16人、敬称略・順不同)
欠席委員	米川
事務局	健康福祉部次長兼社会福祉事務所長 善福 障がい福祉課長 鈴木 障がい福祉G 小林G L 管理G 田之上G L、青山
傍聴者	1名

1 あいさつ

(司会進行：事務局)

- ・健康福祉部次長兼社会福祉事務所長 善福より挨拶。
- ・委員、事務局の自己紹介。
- ・会長及び副会長の選任について、事務局より会長を指名し、会長が副会長の選任を提案。
異議なしのため、会長に藤原氏を指名。

(議事進行：藤原会長)

- ・挨拶の後、副会長に坂氏を選任。

2 議事

(議事進行：藤原会長)

議題1 令和8年度予算・令和7年度決算について

事務局より説明。(資料1)

【委員からの質問・意見】

- ・障害福祉サービス事業費負担金、障害児通所支援 サービス事業費負担金とも増加しているが理由はあるか。
⇒障害福祉サービス事業費の方は、支給決定者数は減少しているが、一人ひとりが利用している回数や時間が増えている傾向のため、利用額は増加していると分析している。障害児通所支援については、令和元年から5歳児検診が開始され、就学前の切れ目のない支援により利用額が増加している。どちらも実情に合わせて予算要求を行っているため、令和8年度予算も増加となっている。

議題2 すずかハートフルプランについて

第4期障害者計画の施策推進状況の報告について

事務局より説明(すずかハートフルプラン2029・資料2)

【委員からの質問・意見】

- ・整理番号3、5 手話施策についてもバスマスクで周知すれば認知度があがるのではないか。

- ⇒働きかけてまいりたい。
- ・整理番号 12 文化会館の改修は令和 6 年度に完了しているので、令和 7 年度の実績としては適さないのではないか。
⇒施策内容に適した工事で整備済みであるという書き方であると認識している。
 - ・整理番号 19 新規採用職員向けの手話研修の外部講師はどこが行ったのか。
⇒三重県聴覚障害者協会に派遣を依頼している。
 - ・整理番号 104 職親がいない状態だが、必要とされている方はいないのか。
後任の方を確保しないのか。
⇒職親をされていた方が亡くなってしまい、新たに引き受けてくれる方がいない状態。
職親制度に対するニーズも不透明であり、新しい方を確保するのは難しいと思われるため、ハローワークのジョブコーチや障害者就業・生活支援センターの支援、就労定着支援でカバーしていく方針。今後、職親を必要とする声等、ニーズが出てきたら、新しい方を探す等、具体的に検討していきたい。
⇒(杉の子特別支援学校から) 高等部の進路担当が市内企業を回っているが、実習を受入可能な企業が少なく、苦労していると聞いている。受入可能な企業が増えると有難い。

議題 3 第 8 期障害福祉計画及び第 4 期障害児福祉計画策定について 事務局より説明。(資料 3)

【委員からの質問・意見】

- ・ 2 - (1) 基本施策番号 「222 障がい者の自立と社会参加の支援」は、新規、継続どちらになるか。
⇒221、222 とも総合計画 2031 の基本施策であるため令和 9 年度以降も継続となる。
- ・ すずかハートフルプラン 2029 の 51 ページに記載の鈴鹿市手話言語条例について、発信が弱いと感じるので、デジタルサイネージの使用等、形を明記して強く発信する記載となるよう検討いただきたい。
⇒今回策定するのはすずかハートフルプランの 75 ページ以降の部分となる。
ご意見いただいた項目は、2029 年度までの 6 年間の計画として現在進行している第 4 期鈴鹿市障害者計画に関することになるので、適切に進行を管理し、前進するように取り組みたい。

■鈴鹿市障害者差別解消支援地域協議会

事務局 報告する事例なし

【委員からの質問・意見】

- ・ 障がい者の当事者として、まだ市民に合理的配慮が浸透していないと感じる。
第 4 期障害者計画の施策推進状況の整理番号 7 に「障害者差別解消法」の推進の項目があるが、庁内だけでなく、自治会や民生児童委員等、庁外にも目を向けて周知啓発いただきたい。

その他、意見なし

(会議終了 14 : 55)